災害救護速報

# 令和8年熊本地震にかかる日本赤十字社の対応等について（第17報）

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

2026年10月1日（木）
事業局 救護・福祉部

# 1　災害の概要

## （１）概要［気象庁情報：９月24日９時00分 現在］

### 令和8年熊本地震

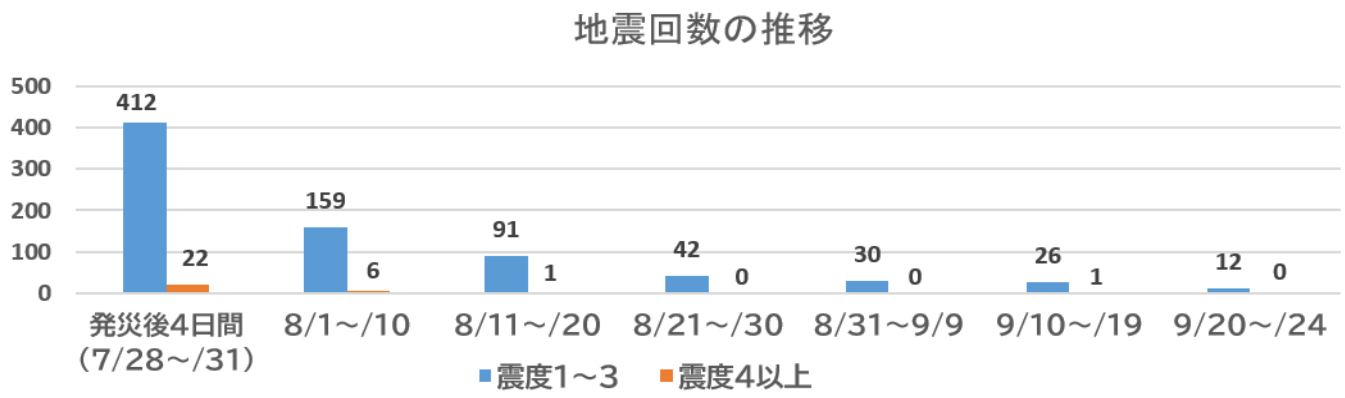
令和8年7月28日16時27分に発生

震源地
**熊本県熊本地方**

マグニチュード
**M 7.1**

最大震度
震度 **7**
熊本県宇城市・氷川町

震度１以上
**802** 回



# 1　災害の概要

## （２）被害状況［消防庁情報：　９月24日17時00分 現在］

| | 人的被害 | | | 住家被害 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 死者 | 重傷 | 軽傷 | 全壊 | 半壊 | 一部破損 |
| 熊本県 | 38　人 | 39　人 | 330　人 | 2,270 棟 | 6,357 棟 | 43,544棟 |
| 他府県計 | ０　人 | １　人 | ３　人 | ０　棟 | ０　棟 | ８　棟 |

## （３）熊本県のライフライン等の状況

| | 復旧状況 |
|---|---|
| 水道関係 | ８月28日に全ての水道本管の応急復旧が完了 |
| 電力関係 | ７月31日に全復旧 |
| ガス関係 | ８月14日に全復旧 |

# 1　災害の概要

※（　）内の数字は前報比

## （４）避難所の状況［熊本県：９月29日14時00分 現在］

- 避難所開設数：29カ所（-7）
- 避難者数：1,409人（-286）

| 市町村 | 避難所数 | 避難者数 |
|---|---|---|
| 熊本市 | 2カ所（-1） | 23人（-56） |
| 宇土市 | 1カ所（0） | 70人（-9） |
| 宇城市 | 5カ所（-3） | 347人（-92） |
| 八代市 | 13カ所（-1） | 734人（-102） |
| 氷川町 | 3カ所（0） | 193人（-19） |
| その他市町村 | 5カ所（-2） | 42人（-8） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## （１）救護体制［10月１日11時00分 現在］

第１次救護体制：救護担当部門で対応　第２次救護体制：原則全部門で対応
第３次救護体制：全職員で対応

| 本社・ブロック | 支部名 | 救護体制 |
|---|---|---|
| 本社 | ― | 第１次救護体制 |
| 第６ブロック<br>（九州・沖縄） | 熊本県支部 | 第１次救護体制 |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## （２）活動の概要［10月１日 現在］

### 職員・ボランティアの派遣

救護班
延べ**188班**を派遣

日赤災害医療
コーディネートチーム
延べ**74チーム**を派遣

こころのケア班（調整班含む）
延べ**51班**を派遣

支部支援要員等
延べ**89人**を派遣

### 救援物資の配布

毛布・タオルケット
**670枚**

安眠セット
**2,244セット**

その他
パーテーションなど

その他、赤十字奉仕団等の赤十字ボランティアが、被災地をはじめ全国で活動中

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## （３）救護要員の派遣状況［10月１日11時00分現在］

### ア　関係機関への要員派遣：派遣延べ人数　29人

| 派遣元 | 派遣数※ | 派遣先 | 活動内容 | 活動期間 |
|---|---|---|---|---|
| 熊本県支部 | １人 | 熊本県庁 | 熊本県災害対策本部会議 | 7/28～ |

※表内の派遣数については現在活動中のものであること

発災当初の熊本県災害対策本部会議（熊本県 熊本市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## イ　救護班：派遣延べ班数　188班

被災地における保健・医療ニーズのアセスメントや巡回診療の他、被災した医療機関の支援や災害関連死防止のための取り組み等を行います。
また、必要に応じて避難所の環境改善（段ボールベッドの展開等）のための取り組みも行います。

熊本県支部災害対策本部でブリーフィングを受ける救護班（熊本県 熊本市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

暑熱環境下で活動を行う救護班（熊本県 宇城市）

避難所を巡回する救護班（熊本県 宇城市）

被災者の方と向き合う救護班（熊本県　八代市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

避難所で様々な支援団体と連携して活動する救護班（熊本県　宇城市）

避難所の環境改善活動を行う救護班（熊本県　宇城市　八代市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## イ　救護班

（ア）＜活動終了＞班数　188班

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 本社 | 2　班 | 本社 | 2　班 | 日本赤十字社医療センター（2） |
| 1B | 10　班 | 北海道支部 | 2　班 | 旭川赤十字病院（1）、釧路赤十字病院（1） |
| | | 青森県支部 | 1　班 | 八戸赤十字病院（1） |
| | | 岩手県支部 | 1　班 | 盛岡赤十字病院（1） |
| | | 宮城県支部 | 3　班 | 仙台赤十字病院（1）、石巻赤十字病院（2） |
| | | 秋田県支部 | 1　班 | 秋田赤十字病院（1） |
| | | 山形県支部 | 1　班 | 北村山公立病院（協定）（1） |
| | | 福島県支部 | 1　班 | 福島赤十字病院（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 2 B | 29　班 | 茨城県支部 | 4　班 | 水戸赤十字病院（3）、古河赤十字病院（1） |
| | | 栃木県支部 | 4　班 | 芳賀赤十字病院（1）、那須赤十字病院（1）<br>足利赤十字病院（1）<br>芳賀赤十字病院・那須赤十字病院（合同班1） |
| | | 群馬県支部 | 3　班 | 前橋赤十字病院（1）、原町赤十字病院（2） |
| | | 埼玉県支部 | 3　班 | さいたま赤十字病院（1）、小川赤十字病院（1）、深谷赤十字病院（1） |
| | | 千葉県支部 | 2　班 | 成田赤十字病院（2） |
| | | 東京都支部 | 5　班 | 武蔵野赤十字病院（2）、大森赤十字病院（2）<br>東京かつしか赤十字母子医療センター（1） |
| | | 神奈川県支部 | 4　班 | 横浜市立みなと赤十字病院（2）、秦野赤十字病院（1）、相模原赤十字病院（1） |
| | | 新潟県支部 | 3　班 | 長岡赤十字病院（3） |
| | | 山梨県支部 | 1　班 | 山梨赤十字病院（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 3B | 22　班 | 富山県支部 | 2 班 | 富山赤十字病院（2） |
| | | 石川県支部 | 2 班 | 金沢赤十字病院（2） |
| | | 福井県支部 | 2 班 | 福井赤十字病院（2） |
| | | 長野県支部 | 4 班 | 長野赤十字病院（1）、諏訪赤十字病院（1）<br>下伊那赤十字病院（1）、飯山赤十字病院（1） |
| | | 岐阜県支部 | 2 班 | 高山赤十字病院（1）、岐阜赤十字病院（1） |
| | | 静岡県支部 | 2 班 | 静岡赤十字病院（1）、浜松赤十字病院（1） |
| | | 愛知県支部 | 6 班 | 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院（3）<br>日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（3） |
| | | 三重県支部 | 2 班 | 伊勢赤十字病院（2） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 4 B | 14　班 | 滋賀県支部 | 2　班 | 大津赤十字病院（1）、長浜赤十字病院（1） |
| | | 京都府支部 | 2　班 | 京都第二赤十字病院（1）、舞鶴赤十字病院（1） |
| | | 大阪府支部 | 3　班 | 大阪赤十字病院・高槻赤十字病院（合同班３） |
| | | 兵庫県支部 | 3　班 | 姫路赤十字病院（1）、神戸赤十字病院（1）<br>多可赤十字病院・神戸赤十字病院（合同班１） |
| | | 奈良県支部 | 2　班 | 奈良県立医科大学附属病院（協定）（1）<br>市立奈良病院（協定）（1） |
| | | 和歌山県支部 | 2　班 | 日本赤十字社和歌山医療センター（2） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 5Ｂ | 34　班 | 鳥取県支部 | 3　班 | 鳥取赤十字病院（3） |
| | | 島根県支部 | 5　班 | 松江赤十字病院（3）、益田赤十字病院（2） |
| | | 岡山県支部 | 3　班 | 岡山赤十字病院（3） |
| | | 広島県支部 | 4　班 | 広島赤十字・原爆病院（2）<br>庄原赤十字病院（1）、三原赤十字病院（1） |
| | | 山口県支部 | 5　班 | 山口赤十字病院（4）、小野田赤十字病院（1） |
| | | 徳島県支部 | 4　班 | 徳島赤十字病院（3）<br>徳島赤十字ひのみね医療療育センター（1） |
| | | 香川県支部 | 4　班 | 高松赤十字病院（4） |
| | | 愛媛県支部 | 3　班 | 松山赤十字病院（3） |
| | | 高知県支部 | 3　班 | 高知赤十字病院（3） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 6Ｂ | 77　班 | 福岡県支部 | 10　班 | 福岡赤十字病院（７）、今津赤十字病院（１）嘉麻赤十字病院（１）、福岡赤十字病院・今津赤十字病院（合同班１） |
| | | 佐賀県支部 | 5　班 | 唐津赤十字病院（５） |
| | | 長崎県支部 | 6　班 | 日本赤十字社長崎原爆病院（４）、日本赤十字社長崎原爆諫早病院（２） |
| | | 熊本県支部 | 38　班 | 熊本赤十字病院（38） |
| | | 大分県支部 | 5　班 | 大分赤十字病院（５） |
| | | 宮崎県支部 | 4　班 | 宮崎大学医学部附属病院（協定）（１）宮崎市郡医師会病院（協定）（１）県立宮崎病院（協定）・県立延岡病院（協定）（合同班１）、都城市郡医師会病院（協定）（１） |
| | | 鹿児島県支部 | 4　班 | 鹿児島赤十字病院（４） |
| | | 沖縄県支部 | 5　班 | 沖縄赤十字病院（５） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## ウ　日赤災害医療コーディネートチーム：活動数延べ 74チーム

被災地の保健医療ニーズを把握し、関係機関との調整や医療救護に関する専門的助言を行います。

熊本県庁及び被災地保健医療福祉調整本部におけるコーディネート活動（熊本県 熊本市　八代市）

熊本県支部災害対策本部におけるコーディネート活動（熊本県 熊本市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## ウ　日赤災害医療コーディネートチーム

（ア）＜活動終了＞チーム数　74チーム

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 1B | 5チーム | 北海道支部 | 1　チーム | 北見赤十字病院・小清水赤十字病院（合同班１） |
| | | 青森県支部 | 1　チーム | 八戸赤十字病院（1） |
| | | 岩手県支部 | 1　チーム | 盛岡赤十字病院（1） |
| | | 宮城県支部 | 1　チーム | 石巻赤十字病院（1） |
| | | 福島県支部 | 1　チーム | 福島赤十字病院（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 2B | 8チーム | 茨城県支部 | 1　チーム | 古河赤十字病院（1） |
| | | 群馬県支部 | 1　チーム | 前橋赤十字病院（1） |
| | | 埼玉県支部 | 2　チーム | さいたま赤十字病院（2） |
| | | 千葉県支部 | 1　チーム | 成田赤十字病院（1） |
| | | 東京都支部 | 1　チーム | 武蔵野赤十字病院（1） |
| | | 神奈川県支部 | 1　チーム | 横浜市立みなと赤十字病院（1） |
| | | 新潟県支部 | 1　チーム | 長岡赤十字病院（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 3B | 12 チーム | 富山県支部 | 1 チーム | 富山赤十字病院（1） |
| | | 石川県支部 | 1 チーム | 金沢赤十字病院（1） |
| | | 福井県支部 | 1 チーム | 福井赤十字病院（1） |
| | | 長野県支部 | 2 チーム | 長野赤十字病院（1）、安曇野赤十字病院（1） |
| | | 岐阜県支部 | 2 チーム | 高山赤十字病院（2） |
| | | 静岡県支部 | 1 チーム | 静岡赤十字病院（1） |
| | | 愛知県支部 | 2 チーム | 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院（1）<br>日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・名古屋第二病院（合同班１） |
| | | 三重県支部 | 2 チーム | 伊勢赤十字病院（2） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 4B | 12チーム | 滋賀県支部 | 2　チーム | 大津赤十字病院（1）、長浜赤十字病院（1） |
| | | 京都府支部 | 3　チーム | 京都第一赤十字病院（3） |
| | | 大阪府支部 | 2　チーム | 大阪赤十字病院（1）、高槻赤十字病院（1） |
| | | 兵庫県支部 | 3　チーム | 神戸赤十字病院（2）、姫路赤十字病院（1） |
| | | 和歌山県支部 | 2　チーム | 日本赤十字社和歌山医療センター（2） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 5B | 8チーム | 鳥取県支部 | 1　チーム | 鳥取赤十字病院（1） |
| | | 岡山県支部 | 1　チーム | 岡山赤十字病院（1） |
| | | 広島県支部 | 2　チーム | 広島赤十字・原爆病院（2） |
| | | 徳島県支部 | 1　チーム | 徳島赤十字病院（1） |
| | | 香川県支部 | 1　チーム | 高松赤十字病院（1） |
| | | 愛媛県支部 | 1　チーム | 松山赤十字病院（1） |
| | | 高知県支部 | 1　チーム | 高知赤十字病院（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 6B | 29チーム | 福岡県支部 | 2　チーム | 福岡赤十字病院（2） |
| | | 佐賀県支部 | 1　チーム | 唐津赤十字病院（1） |
| | | 佐賀・大分県支部合同 | 1　チーム | 佐賀県支部・大分赤十字病院（合同チーム1） |
| | | 長崎県支部 | 2　チーム | 日本赤十字社長崎原爆病院（2） |
| | | 熊本県支部 | 22　チーム | 熊本赤十字病院（22） |
| | | 沖縄県支部 | 1　チーム | 沖縄赤十字病院（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## エ　こころのケア班（調整班含む）：活動数延べ 51班

### （ア）こころのケア調整班　活動終了

こころのケア活動体制の構築、展開方針の決定、関係機関との調整を行います。

こころのケア調整班から活動前のブリーフィングを受ける、こころのケア班メンバー（熊本県 熊本市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## エ　こころのケア班（調整班含む）

### （イ）こころのケア班

被災された方々の健康や身近な悩みに耳を傾け、安心感や人とのつながりを取り戻せるよう支援します。その方の心身の状態や生活環境、周囲との関係を踏まえて、ハンドケアや足浴などのリラクセーション、ストレスへの対処方法に関する情報提供などを行います。

被災者の方のお話に耳を傾けるこころのケア要員（熊本県　氷川町）

被災者の方へのリラクセーション実施（熊本県　氷川町）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## エ　こころのケア班（調整班含む）

### （ウ）こころのケア調整班　＜活動終了＞班数　13班

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 本社 | 3　班 | 本社 | 3　班 | 日本赤十字社医療センター（3） |
| 1 B | 1　班 | 宮城県支部 | 1　班 | 石巻赤十字病院（1） |
| 2 B | 1　班 | 東京都支部 | 1　班 | 東京都支部（1） |
| 3 B | 2　班 | 石川県支部 | 1　班 | 石川県支部（1） |
| | | 三重県支部 | 1　班 | 伊勢赤十字病院（1） |
| 4 B | 2　班 | 滋賀県支部 | 1　班 | 長浜赤十字病院（1） |
| | | 京都府支部 | 1　班 | 京都第一赤十字病院（1） |
| 5 B | 4　班 | 岡山県支部 | 2　班 | 岡山赤十字病院（2） |
| | | 香川県支部 | 1　班 | 高松赤十字病院（1） |
| | | 高知県支部 | 1　班 | 高知赤十字病院（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## エ　こころのケア班（調整班含む）

### （エ）こころのケア班　＜活動終了＞班数　38班

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 4 B | 12　班 | 滋賀県支部 | 2　班 | 大津赤十字病院（1）<br>長浜赤十字病院（1） |
| | | 京都府支部 | 3　班 | 京都第二赤十字病院（1）<br>舞鶴赤十字病院（1）<br>京都第一赤十字病院・<br>京都第一赤十字看護専門学校（合同班1） |
| | | 大阪府支部 | 3　班 | 大阪府支部・大阪赤十字病院（合同班1）<br>大阪赤十字病院（1）<br>高槻赤十字病院（1） |
| | | 兵庫県支部 | 3　班 | 姫路赤十字病院（1）<br>神戸赤十字病院（1）<br>兵庫県支部・多可赤十字病院（合同班1） |
| | | 和歌山県支部 | 1　班 | 日本赤十字社和歌山医療センター（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 5 B | 13 班 | 鳥取県支部 | 1 班 | 鳥取赤十字病院（1） |
| | | 島根県支部 | 1 班 | 松江赤十字病院（1） |
| | | 島根・岡山県支部合同 | 1 班 | 益田赤十字病院・岡山赤十字病院・岡山赤十字看護専門学校（合同班１） |
| | | 岡山・香川・高知県支部合同 | 1 班 | 岡山赤十字病院・高松赤十字病院・高知赤十字病院（合同班１） |
| | | 岡山県支部 | 1 班 | 岡山赤十字病院（1） |
| | | 広島県支部 | 2 班 | 三原赤十字病院（1）<br>広島県支部・広島赤十字・原爆病院<br>三原赤十字病院（合同班１） |
| | | 山口県支部 | 1 班 | 山口赤十字病院（1） |
| | | 山口・愛媛県支部合同 | 1 班 | 山口赤十字病院・松山赤十字病院・愛媛県赤十字血液センター（合同班１） |
| | | 徳島県支部 | 2 班 | 徳島赤十字ひのみね医療療育センター（2） |
| | | 香川県支部 | 1 班 | 高松赤十字病院（1） |
| | | 高知県支部 | 1 班 | 高知赤十字病院（1） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣ブロック | ブロック派遣班数 | 支部名 | 派遣数 | 派遣元 |
|---|---|---|---|---|
| 6 B | 13 班 | 福岡県支部 | 3 班 | 嘉麻赤十字病院（1） |
| | | | | 福岡赤十字病院・今津赤十字病院・嘉麻赤十字病院（合同班１） |
| | | | | 福岡県支部・福岡赤十字病院・今津赤十字病院（合同班１） |
| | | 佐賀県支部 | 2 班 | 唐津赤十字病院（2） |
| | | 長崎県支部 | 1 班 | 日本赤十字社長崎原爆病院・長崎原爆諫早病院（合同班１） |
| | | 長崎・宮崎県支部合同 | 1 班 | 日本赤十字社長崎原爆病院・宮崎県支部（合同班１） |
| | | 熊本県支部 | 1 班 | 熊本赤十字病院・熊本県健康管理センター（合同班１） |
| | | 大分県支部 | 1 班 | 大分赤十字病院（1） |
| | | 大分・宮崎県支部合同 | 1 班 | 大分県支部・大分赤十字病院・宮崎県赤十字血液センター（合同班１） |
| | | 鹿児島県支部 | 1 班 | 鹿児島赤十字病院（1） |
| | | 沖縄県支部 | 2 班 | 沖縄赤十字病院（1）<br>沖縄県支部・沖縄赤十字病院（合同班１） |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## オ　本社初動派遣要員、支部支援要員・広報要員

（ア）＜活動終了＞人数　89人

| 派遣先 | 活動内容 | 派遣元 | 派遣数 |
|---|---|---|---|
| 熊本県支部 | 統括コーディネーター支援 | 本社 | 1　人 |
| | | 石巻赤十字病院 | 1　人 |
| | | 前橋赤十字病院 | 2　人 |
| | | さいたま赤十字病院 | 3　人 |
| | | 本社<br>福島県支部<br>前橋赤十字病院<br>神戸赤十字病院 | 4　人 |
| | | 本社<br>石巻赤十字病院<br>さいたま赤十字病院<br>金沢赤十字病院 | 4　人 |
| | | 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院<br>京都第一赤十字病院<br>長浜赤十字病院 | 3　人 |
| | | 京都第一赤十字病院 | 1　人 |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣先 | 活動内容 | 派遣元 | 派遣数 |
|---|---|---|---|
| 熊本県支部 | 広報支援 | 本社 | 3　人 |
| | 支部支援 | 本社 | 38　人 |
| | | 京都府支部 | 1　人 |
| | | 大阪府支部 | 2　人 |
| | | 兵庫県支部 | 2　人 |
| | | 奈良県支部 | 1　人 |
| | | 和歌山県支部 | 1　人 |
| | | 福岡県支部 | 4　人 |
| | | 佐賀県支部 | 3　人 |
| | | 長崎県支部 | 2　人 |
| | | 大分赤十字病院 | 1　人 |
| | | 宮崎県支部 | 1　人 |
| | | 鹿児島県支部 | 2　人 |
| | | 沖縄県支部 | 1　人 |
| | | 沖縄県赤十字血液センター | 1　人 |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 派遣先 | 活動内容 | 派遣元 | 派遣数 |
|---|---|---|---|
| 熊本県支部 | 義援金業務支援 | 本社 | 1　人 |
| | ボランティア活動支援 | 本社 | 2　人 |
| 熊本県支部等 | 広報業務 | 本社 | 4　人 |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## カ　内閣府との協定に基づく活動

### （ア）内閣府調査チーム（※）への職員派遣

派遣延べ人数　2チーム4人

※被災地において、関係省庁及び被災地方公共団体と緊密な連携をとりつつ、主に次に掲げる任務にあたるもの。
内閣府との協定に基づき、日本赤十字社の医師等が同チームに帯同。
・被災地の調査及び被害情報その他の現地情報の収集
・被災地方公共団体が行う災害対応に関する支援

＜活動終了＞人数　２チーム４人

| 施設名 | 派遣元 | 派遣数 | 派遣先 | 活動内容 | 活動期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 本社 | 本社<br>日本赤十字社医療センター | １チーム<br>２人 | 熊本県庁 | 災害対応支援 | 7/28～8/2 |
| | 本社<br>日本赤十字社医療センター | １チーム<br>２人 | 熊本県庁 | 災害対応支援 | 8/2～/9 |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## （イ）船舶活用医療

内閣府との協定に基づき、船舶を活用した医療が提供される際に日本赤十字社から救護班（資機材含む）を派遣するもの。

＜活動終了＞派遣人数　１班９人

| 派遣先 | 支部名 | 派遣元 | 派遣数 | 活動期間 |
|---|---|---|---|---|
| はくおうⅡ（八代港） | 本社 | 日本赤十字社医療センター | １班９人 | 8/3～/9 |

令和８年熊本地震では、防衛省手配のフェリー「はくおうⅡ」で行われた被災者対象の入浴サービスにおいて、乗船者187人に対して検温や問診などのメディカルチェックを行った（8/5）。台風接近に伴い当該船舶がしばらく避難・離岸することとなったため、関係者との調整の結果、地元医療者等に業務を引き継ぎ、その後は八代市内の避難所環境整備等に従事した。

船舶活用医療「はくおうⅡ」内での活動
（熊本県　八代市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## キ　給水衛生支援

日本赤十字社では海外での震災等に対応するための人材や資機材を整備しており、そのノウハウを活かし、断水が続く被災地で給水衛生支援事業を行いました。

活動内容：避難所への洗濯機、手洗い場設置等の給水支援
活動場所：八代市立第二中学校

機材を設置する熊本赤十字病院所属の
国際救援・開発協力要員（熊本県 八代市）

設置された給水機材及び洗濯機
（熊本県 八代市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## （４）救援物資の配布［10月１日11時00分 現在］

| 配布先 | 安眠セット | タオルケット | 支部名 | 配布日 |
|---|---|---|---|---|
| 宇城市　宇城学校給食センター※ | 700セット | | 熊本県支部 | 8/3 |
| | 240セット | | 熊本県支部 | 8/7 |
| 下益城郡　美里町役場 | | 100枚 | 熊本県支部 | 8/5 |
| 八代市　八代総合庁舎 | 6セット | | 熊本県支部 | 8/4 |
| 八代市　八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館） | 310セット | | 熊本県支部 | 8/4 |
| | 30セット | | 熊本県支部 | 8/22 |

同じ配布先に関しては統合して配布日順に表示していること。
※宇城学校給食センターは救援物資の集積場所（中継地点としてここから避難所等へ配布）であること。

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 配布先 | 安眠セット | タオルケット | 支部名 | 配布日 |
|---|---|---|---|---|
| 八代市立鏡小学校 | 60セット | | 熊本県支部 | 8/6 |
| 八代市日奈久小学校 | 10セット | | 熊本県支部 | 8/9 |
| | 10セット | 10枚 | 熊本県支部 | 8/14 |
| 八代市立第四中学校 | 402セット | 280枚 | 熊本県支部 | 8/3 |
| 八代市立鏡中学校 | 30セット | | 熊本県支部 | 8/8 |
| 八代市立第八中学校 | 70セット | | 熊本県支部 | 8/9 |
| 八代市立第一中学校 | 40セット | | 熊本県支部 | 8/10 |

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

| 配布先 | 安眠セット | タオルケット | 支部名 | 配布日 |
|---|---|---|---|---|
| 八代市　太田郷コミュニティセンター | | 120枚 | 熊本県支部 | 8/3 |
| 八代市　鏡コミュニティセンター | 12セット | 150枚 | 熊本県支部 | 8/3 |
| 八代市八千把コミュニティセンター | 72セット | | 熊本県支部 | 8/7 |
| | 60セット | | 熊本県支部 | 8/10 |
| 八代市　麦島コミュニティセンター | 90セット | | 熊本県支部 | 8/7 |
| 八代市　高田コミュニティセンター | 42セット | | 熊本県支部 | 8/7 |
| 八代市　龍峯コミュニティセンター | 24セット | | 熊本県支部 | 8/7 |
| 八代市　日奈久コミュニティセンター | 30セット | | 熊本県支部 | 8/9 |
| 八代市　宮地コミュニティセンター | 6セット | | 熊本県支部 | 8/13 |

【その他】
・パーテーション：　2個（配布先：松橋東防災センター）
・毛布　　：　10枚（配布先：日奈久小学校）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

救援物資の「安眠セット」とタオルケット

日本赤十字看護大学救護倉庫から救援物資を搬出する様子（東京都　渋谷区）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

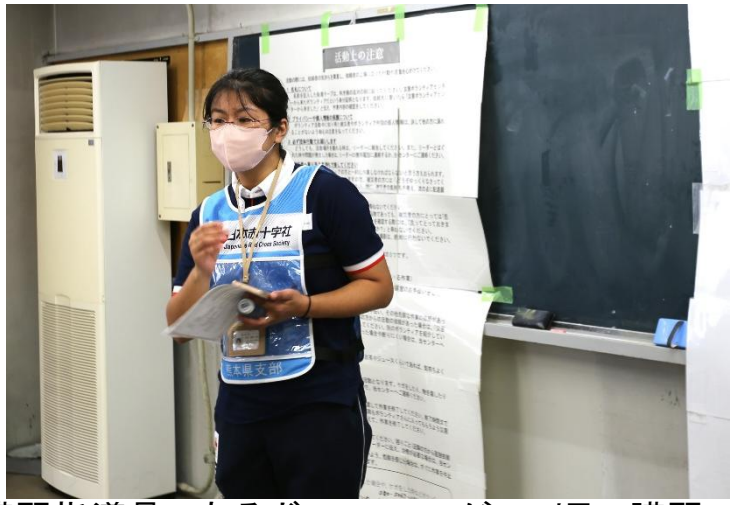
## （５）赤十字ボランティアの活動

熊本県内では、赤十字奉仕団員等、多くの赤十字ボランティアが救援物資の搬入や災害ボランティアセンターにて熱中症の予防・啓発活動等を行っています。
また、全国各地の赤十字ボランティアや青少年赤十字メンバー等が、義援金の募集や救援物資の搬入出の支援活動を行っています。

熊本県支部に到着したボランティア
（熊本県　熊本市）

避難所で救援物資の搬入を行うボランティア
（熊本県　八代市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況



赤十字講習指導員であるボランティアが、日頃の講習で培ったノウハウを生かして熱中症予防のポイントを伝える（熊本県　宇土市）

熱中症予防について説明を受けたボランティア（高校生）の皆さん（熊本県　宇土市）

みなさまの健康を守るために
日本赤十字社からのおしらせです

熱中症の予防について

熱中症になると、体の中の水分が不足して、体調をくずしてしまうことがあります。
汗と一緒に塩分も失われるため、水分と塩分をしっかり補給しましょう。

熱中症は予防が大切！

日傘・帽子
暑いときには無理をしない
日陰を利用
涼しい服装
水分をこまめにとる
こまめに休憩

熱中症!? と思ったら…

START　下記のような症状がありますか？
・めまい　・頭痛　・大量の汗
・吐き気　・おう吐　・倦怠感　・虚脱感
・気分の不快　・こむらがえり

はい

以下は、重篤な症状です！
・意識障害　・手足の運動障害
・けいれん　・高体温

ただちに

高度な治療ができる病院へ！

症状に改善が見られない

症状が改善

体調をよく観察し、休養しましょう！

●涼しい場所に避難
・本人が楽な体位に
●水分補給
・経口補水液、スポーツ飲料など
●体を冷やす
・マスクや厚い衣服は脱がせ、体から熱をにがす
・体の表面に水をかけて風を送る

日本赤十字社 作成チラシより

脱水症状のサインは、普段より尿の量・回数が減る、色が濃くなる、などです。
症状が見られたら、積極的に水分補給をしましょう！

日本赤十字社

被災された方々に配布している熱中症予防に関する啓発チラシ

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

避難所で不要となった段ボールベッドを解体し、
清掃を行うボランティア（熊本県　氷川町）

赤十字飛行奉仕団の活動
（熊本県　益城町）

街頭で義援金を募集する青年赤十字奉仕団
（佐賀県　佐賀市）

街頭で義援金を募集する日本赤十字九州国際
看護大学の学生（福岡県　北九州市）

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## （６）災害救護研究所および各看護大学の活動

### ア　日本赤十字看護大学附属災害救護研究所による協力

災害救護の実践的な研究機関である同研究所から、避難所の環境改善の専門家が熊本に派遣され、日赤救護班等とともに優先課題であった各避難所での段ボールベッドの設置等を迅速に行いました。断水や猛暑が続く中、TKB（トイレ・キッチン・ベッド）＋W（空調）の視点で環境を評価し、避難者の心身の健康維持やその後の避難生活をより快適に保つため、それぞれの避難所の状況に合わせたレイアウトを示し、関係者や避難者の了解・信頼を得て展開を行いました。

迅速・的確に避難所の
段ボールベッドの展開を行う
（熊本県　八代市）

### イ　日本赤十字学園の各看護大学の活動

全国6か所の日本赤十字学園の各看護大学において、学内での募金箱の設置や学生たちによる募金活動を行いました。

学生も多く利用するスーパーの
一画をお借りして募金活動を実施。

# 2　日本赤十字社の主な活動状況

## （７）義援金の受付

皆様方からお寄せいただきました義援金は、被災地の方々の生活を支援するため、全額を被災地の義援金配分委員会にお送りいたします。

ア　義援金名　令和８年熊本地震災害義援金
イ　受付期間　令和８年７月31日（金）～令和８年10月30日（金）
ウ　協力方法　日本赤十字社ホームページをご覧ください。
エ　受付状況（令和８年８月31日（月）集計時点）
　◎合計受付金額　11,788,830,108円
　◎熊本県義援金配分委員会への合計送金額　11,788,830,108円
※上記送金後に寄せられた義援金については、熊本県義援金配分委員会への速やかな送金に向けて順次取り進めて参ります。